

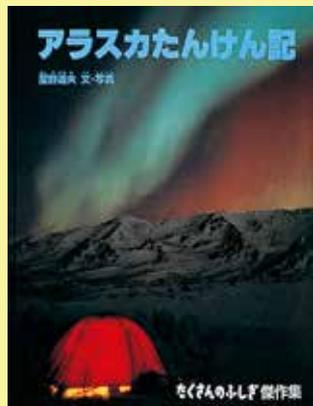
緑地を楽しむ本

## 『アラスカたんけん記』

たぐさんのふしぎ傑作集

星野道夫 文・写真

福音館書店



寒～い冬。つい、体が縮こまってしましますね。でも、こんな時にも、西緑地の動物や植物はちゃんと生き抜いていることでしょう。

寒いといえば、冬はマイナス何十度にもなるところにも人間は住んでいます。アラスカに魅

せられた星野道夫さんのこの本では、人が自然の中でどううまく生きているかとか、アラスカの大自然のすごさを示してくれています

秋に、ネズミが集めたエスキモーポテトをいただいたお婆あさん。穴の中から半分だけ取り、代わりに魚の干物を入れてやりました。これは最近流行の持続可能な開発ですよ。人間は本来自然と共存する知恵を持っていたのだと気づかせてくれます。

(齋藤好子)

※エスキモーポテトとは、小さな植物の根。冬に備えてネズミが集め、穴を掘ってたくわえます。